

2025 年度 松蔭高校 Blue Earth Project

高校3年生 活動報告

【テーマ】 気候変動・海洋酸性化・海洋プラスチックごみといった海の環境問題を伝えたくて、イベント会場でお客さんから海の環境問題に対してできる身近なアクションを考えてもらった。

【活動内容】 ① 啓発イベントの実施
② フィールドワーク

【協力】

サンテレビ・阪急阪神ビルマネジメント・神戸須磨シーワールド・オリエンタルホテル沖縄リゾート&スパ・NEO WAVE

【フィールドワーク】

- ① 神戸須磨シーワールド:海の生物多様性を実感した。
- ② 明石浦漁業組合:漁業組合長から漁網の話聞いた後、使わなくなった漁網の洗浄をした後持ち帰った。
- ③ やんばるの森:地上の生物多様性を実感

【啓発イベント実施日時とイベント会場】

- ① 2025年2月11日(火) 13:00~16:00 神戸須磨シーワールド(オルカホール)
- ② 2025年2月22日(日)11:30~15:30 御影クラッセ(クラッセ広場、3階催事場)
- ③ 2025年3月1日(日) 10:00~16:00 阪急西宮ガーデンズ(4階ガーデンズホールと木の葉のステージ)
- ④ 2025年3月14日(土)15:00~19:00 オリエンタルホテル沖縄リゾート&スパ
・3月15日(日)8:30~9:30 かりゆしビーチでビーチクリーン
- ⑤ 2025年3月22日(日)13:00~16:30MBS 毎日放送本社社屋内ちやまちプラザ

【イベント内容】

① ステージ

- 気候変動やそれに対する解決アクションとして SAF のことを劇やクイズ、あるいはダンス等も入れながら女子高生らしく明るく楽しくわかりやすく伝えます。

(あらすじ) ある日ウミガメが漁網に絡まって苦しんでいるのを見た女子高生たちは、海洋バランス崩壊事件を捜査していた新人警察と海の中にワープして入っていく。そこで目にしたのは海洋酸性化で死んでいったミジンウキマイマイや、海水温上昇で白化してしまったサンゴや、漁網に絡まって苦しんでいたウミガメたち。その原因を突き止めていく女子高生たちと新人警察。最初は無関心だった女子高生たちも最後には解決策を見出していく物語

② ブース

<海ラボコーナー>最初に、海シアターコーナーで360度VRゴーグルをつけて美しいサンゴの海中や悠々と泳ぐウミガメを見ます。その隣の海の教室コーナーでは、海洋プラスチックごみ、海洋酸性化、気候変動といった海の環境問題を Blue Earth Project の生徒が分かりやすく伝えた。

<漁網アップサイクルブース>プラスチックで出来た漁網は海に流れ出してしまうとウミガメや多くの生き物に絡まって時には命の危機にもなります。そこで地元明石の漁網を使って花束、小物入れ、ポーチ、ボトルホルダーなどにアップサイクル(捨てられるものに価値を加えること)できるブースを実施した。また海洋酸性化などの問題に対して節電ランタンや間伐材のしおり作りができるブースも実施した。

<魚網アート(兼フォトスポット)>2m四方のテント上のモニュメントも設置した。表面は青く美しい海で生きものがたくさん泳ぐ海。中に入ると魚網がかけられていて、海の危機的現状を伝える仕組みにした。また中から顔を出せば美しい海をバックにしたフォトスポットになるようにした。

活動の様子

① フィールドワーク



神戸須磨シーワールド訪問



明石浦漁協訪問

② 啓発イベントの様子

《神戸須磨シーワールド 2/11》



海の教室（プレゼン）



ブース（魚網のアップサイクル）

《御影クラッセ 2/22》



ステージ（劇）



魚網アート

《阪急西宮ガーデンズ 3/1》





最後の涙の挨拶シーンは下記からご覧ください。(活動を共に乗り越えて、感動を共有して一体になったことが伝わってきます。)→ <https://www.youtube.com/watch?v=SUFBEhdv8s>

《オリエンタルホテル沖縄リゾート&スパ 3/14》



《かりゆしビーチでビーチクリーン 3/15》



《MBS 毎日放送本社社屋内ちゃやまちプラザ 3/22》





劇で環境保護の大切さを訴える松陰高校の生徒ら―西宮市高松町

海的环境保全を呼びかけ

松陰高生 啓発イベント 漁網をポーチやバッグに

西宮 海洋投棄されるプラスチックごみの削減を企画し、再利用したアートも呼びかけようと、松陰高校(神戸市灘区)の3年生の生徒27人が、阪急西宮ガートランスでエコイベントを開いた。ごみに絡まって苦しむウミガメなどが登場する劇やダンスを披露し、環境保護の大切さを訴えた。

「海の授業」では毎年、海にどのくらいのごみが捨てられているかをクイズにし、自宅でできる脱プラスチックの取り組みを紹介した。海洋ごみにまつわる劇も披露。漁網に絡まって苦しむウミガメや、海水温の上昇で白化したサンゴの現状に気が付き、解決策を探る内容で、脚本や衣装を生徒らが考え、息の合ったダンスを見せた。

代表の松本はなさん(18)は「来場者から環境保護の大切さが分かったと声をかけてもらい、やってきた活動に意味があったと思えた」と笑顔で話した。(潮海陽香)

【テレビ特集】 3月9日(月)放送

今年度の高3の活動はサンテレビジョンが3か月間取材して特別放映してくれました。その様子は下記からご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=9Yzc7Y5Lidk>

A) 大阪関西万博での発表

※ NPO 法人 Blue Earth Project の大学生が企画実施した2時間のステージ「次世代の若者による脱炭素社会に向けた豊かな暮らしの提言～ 2050 年を体験する未来のテレビ番組風ステージ～」の中で NPO 法人 Blue Earth Project の学生のサポートを受けつつ、校内での脱炭素キャンペーンの報告等を発表した。

【テーマ】 (高校2年生)SAF の啓発 (高校3年生)デコ活啓発

【発表日時】 2025 年 8 月 9 日 (土)15:00～17:00

【発表場所】 大阪関西万博ビューチャーライフエクスペリエンスステージ

【発表内容】 (高校2年生)校内デコ活キャンペーンの活動報告(高校3年生)デコ活宣言

【活動の様子】

★ 当日の様子(動画)は→ https://www.youtube.com/watch?v=siNCL_61Xqw

